

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
1-① 要介護認定の適正化（認定調査）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
認定調査票の職員間の確認を行うほか、調査基準の標準化のための研修会を実施し適正化に努めます。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
適正かつ公平な認定が行われるよう地区別研修会への参加、自主研修の実施		—		—
認定調査資料のチェック		100%		100%
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○		○	○	
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
適正かつ公平な認定が行われるよう地区別研修会への参加、自主研修の実施		地区別研修会はリモート開催となった。調査項目の判断・特記事項の書き方など事例検討をメインとした研修会を行い、意見交換による整合を図った。		
認定調査資料のチェック		調査資料の全件チェックを行った。		
5 前年度の課題、改善すべき点等				
適正かつ公平な認定が行われるよう地区別研修会への参加、自主研修の実施		地区別研修会に参加し意見交換等を行い、調査の正確性を高める。調査基準の標準化を図るため、e-ランニングシステムを活用した自主研修を行う。		
認定調査資料のチェック		引き続き、調査資料の全件チェックを行う。		
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	○	○	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
適正かつ公平な認定が行われるよう地区別研修会への参加、自主研修の実施		—		
認定調査資料のチェック		認定調査資料全件チェック（100%）の実施。		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
1-② 要介護認定の適正化（審査会）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
認定調査票の職員間の確認を行うほか、調査基準の標準化のための研修会を実施し適正化に努めます。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
適正かつ公平な認定が行われるよう地区別研修会の参加、自主研修の実施		—		—
重度変更率の標準化		9.4%		10.0%
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
×	○	○	○	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
適正かつ公平な認定が行われるよう地区別研修会の参加、自主研修の実施		新型コロナウイルス感染症の影響により、書面研修となったため、意見交換等を行うことが出来なかった。		
重度変更率の標準化		目標値には及ばなかったが、県平均に近づきつつある。		
5 前年度の課題、改善すべき点等				
適正かつ公平な認定が行われるよう地区別研修会の参加、自主研修の実施		引き続き、研修会に参加し、適正かつ公平な認定が行われるよう知識、技能の習得等により、質の向上を図る。		
重度変更率の標準化		県平均に近づくようにする。		
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
×	○	○	○	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
適正かつ公平な認定が行われるよう地区別研修会への参加、自主研修の実施		—		
重度変更率の標準化		9.00%		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
(介護給付適正化事業)

事業項目				
2 ケアプラン点検				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
自立支援に資する適切なケアプラン作成に向けて、ケアマネジャーに気づきを促すことを目的とした点検、ケアマネジメントの質の向上を支援するための研修会を実施します。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
ケアプラン点検		36件/年		27件
ケアマネジメント研修		2回/年		11回
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	○	○	○
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
ケアプラン点検		今年度の運営指導の対象とした居宅介護支援事業所及び小規模多機能型居宅介護事業所をケアプラン点検対象とした。ケアマネジメント資料に加えて、「自己点検表」を併せて提出してもらい、自己のケアマネジメントに対して自己評価を行ってもらった。客観的評価と自己評価両面から振り返りを促すことができている。また、今年度は、サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホーム等の居住者のケアプランを作成している居宅介護支援事業所を対象にし、高齢者向け住まい等サービス付き高齢者向け住宅等居住者のケアプラン点検を実施。「入居者のニーズを超えた過剰なサービス」を位置づけていないか、ケアプランの内容が入居者の自立支援や重度化防止等につながっているかの観点からの点検を行った。		
ケアマネジメント研修		外部講師を招き、「信頼関係の構築のしかた～面接を通して情報収集の手法を学ぶ～」と題して、アセスメントにおける利用者や家族との信頼関係の構築やアセスメントにおける情報収集の整理の仕方を研修テーマにしてケアマネジャー向けの専門研修をハイブリッド形式で実施した。		
5 前年度の課題、改善すべき点等				
ケアプラン点検		運営指導において事前提出を求めるケアマネジメント書類については、後日、適正化事業として行うケアプラン点検を想定し、「訪問介護のみを位置づけたプラン」や「状態変化があって見直しを行ったプラン」など、抽出要件を設定して提出の依頼を行っている。運営指導では、ケアマネジメント業務の流れに沿った適正な事務処理が行われているかの視点で業務プロセスの書類点検を行うが、ケアプラン点検では提出されたケアプランの内容に主眼を置く点検業務と位置付ける。アセスメントとケアプランの連動性や、「自立支援」の視点が備わっているプランとなっているか、点検の視点を区別してケアマネジャーに振り返りと気づきを促すアプローチとなるようにしている。同じケアマネジメント書類を用いることで、ケアマネジャーの負担軽減と点検に係る効率化が図られており、今後も継続していきたい。		
ケアマネジメント研修		ケアプランを作成するケアマネジャー自身が「自立支援」を意識した思考サイクルに基づいてケアマネジメントを実践できるよう、ケアマネジメント業務に特化した外部の専門講師を招き、高度な専門研修の実施を引き続き継続していく。		
6 当年度の事業別取組実施項目				

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
(介護給付適正化事業)

第1	第2	第3	第4	第5
○		○	○	○
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
ケアプラン点検		36件/年		
ケアマネジメント研修		2回/年		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
3-① 住宅改修等の点検（住宅改修の点検）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
自立支援のための在宅生活の基本動作の補助と、身体状況から安全性を確保するための改修であるか訪問による実態確認を行い、不適切な改修を排除するための点検を実施します。また、理学療法士等のリハビリテーション専門職の関与を検討し、効果的な点検体制の構築を目指します。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
施工前現地確認		100%（全件）		100%（77/77）
リハビリテーション専門職による点検		10%		61%（47/77）
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
施工前現地確認		施工前の全数訪問調査を行い、改修前に関係者で工事の内容、必要性を確認し、利用者の状態像に合わない不要な改修や対象外となる改修を未然に防ぐよう努めた。また、訪問する際は、住宅改修「前」の点検確認シートを持参し、住環境評価や改修の必要性の確認作業がスムーズに行えるよう、点検方法の標準化に取り組んでいる。		
リハビリテーション専門職による点検		工事施行前の現地確認に本課所属の理学療法士が同行して点検を行う取組を継続している。本人やご家族との聴き取りで得られる情報から、身体機能を評価し、必要性の検証以外に改修内容の助言・提案を行うことができた。		
5 前年度の課題、改善すべき点等				
施工前現地確認		引き続き現在の取組みを継続していく。		
リハビリテーション専門職による点検		人事異動による配置転換で、現在本課に所属する専門職の関与が難しくなることも予想される。専門人材を有するリハビリ系の介護サービス事業所等に、今後も継続的かつ積極的に関与してもらえよう、事業所との協力体制づくりが必要。		
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	○
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
修施工前現地確認		100%（全件）		
リハビリテーション専門職による点検		10%		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
3-② 住宅改修等の点検（福祉用具購入・貸与の点検）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
福祉用具利用者に対して訪問調査を行い、自立支援の機会を阻害することになっていないか、その必要性・妥当性の確認を行います。また、理学療法士等のリハビリテーション専門職の関与を検討し、効果的な点検体制の構築を目指します。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
福祉用具購入・貸与調査		24件／年		13件
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
福祉用具購入・貸与調査		<p>国保連合会提供適正化帳票「認定調査状況と利用サービス不一致一覧表」を活用し、リストに抽出された利用者の中から認定調査票のADL評価と要介護度及び障害高齢者自立度を参照し、不適切な利用が疑われる対象者を抽出。自宅訪問による現地調査を実施した（対象者8名）。また、住宅改修の施工前の現地確認時に合わせて、福祉用具利用者の点検を行った（4名）。地域包括支援センター所属の主任介護支援専門員及び本課所属の理学療法士と現地調査を実施したことで、妥当性、平等性、利用頻度、安全性等の確認を行う以外に、専門職による助言や提案を行いながら効果的な点検の機会となった。</p>		
5 前年度の課題、改善すべき点等				
福祉用具購入・貸与調査		<p>点検の効率化を図る目的で、住宅改修の施工前点検等で自宅訪問をする機会に併せて実施することを計画したが、住宅改修を希望するケースでは、福祉用具貸与を開始していない新規の要介護認定者が多く、見込んだ件数の調査を同時に実施することが難しいことが分かった。従来通り、事前に点検対象者の抽出を行い、調査期間に実施する方法を基本としていきたい。</p>		
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
福祉用具購入・貸与調査		24件／年		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
(介護給付適正化事業)

事業項目				
4-① 縦覧点検・医療情報との突合（縦覧点検）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
国保連への委託により効果的な点検を実施します。重複請求チェック一覧表、算定期間回数制限チェック一覧表などを活用し、給付の誤りや不適正な請求を分析し、事業所の個別指導に活用します。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
縦覧点検分析結果を実地指導に活用		2回/年		2回/年
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	×	×	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
縦覧点検分析結果を実地指導に活用		受給者ごとの複数月にわたる請求明細書の内容において、算定回数の確認やサービス間・事業所間の給付の整合性の確認を行う縦覧点検を国保連に委託して実施した。また、縦覧点検の結果をもとに提供される帳票「軽度者の要介護者にかかる福祉用具貸与品目一覧表」を福祉用具貸与の点検対象者抽出に活用した。また、「要介護認定期間の半数を超える短期入所受給者一覧表」から、短期入所の利用日数が多くなっている被保険者を把握し、長期理由に係る理由書の提出を求めた。		
5 前年度の課題、改善すべき点等				
縦覧点検分析結果を実地指導に活用		毎月、国保連から縦覧点検により提供される帳票を介護給付適正化事業に活用している。今後も現在の取組を継続する。次年度は、活用が進んでいない「入退所を繰り返す受給者縦覧一覧表」、「居宅介護支援再請求等状況一覧表」、「月途中要介護状態変更受給者一覧表」を運営（実地）指導や適正化事業に活用していきたい。		
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	×	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
縦覧点検分析結果を実地指導に活用		2回/年		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
4-② 縦覧点検・医療情報との突合（医療情報との突合）				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
国保連への委託により効果的な点検を実施します。また、医療担当部署と連携し、受給者の後期高齢者医療や国民健康保険の入院情報と介護保険の給付情報を突合し、給付日数や提供されたサービスの整合性の点検を行います。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
医療費情報突合リストによる点検		全件（100%）		全件（100%）
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	×	×	×	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
医療費情報突合リストによる点検		国保連合会から提供される医療給付と介護給付情報の突合結果「医療給付情報突合リスト」を基に、健康保険課レセプト点検係に依頼し、同月内における医療給付実績と介護給付実績の突合点検を行った。介護給付で算定できない過誤処理へ繋がるケースは確認できなかったが、医療と介護の重複請求の排除につながっている。		
5 前年度の課題、改善すべき点等				
医療費情報突合リストによる点検		毎月、国保連から提供される医療情報突合リストを活用し、保険者において確認が必要なものについては、確実に突合作業を実施している。今後も継続する。		
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	×	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
医療費情報突合リストによる点検		全件（100%）		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
（介護給付適正化事業）

事業項目				
5 介護給付費通知				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
利用者本人またはその家族に対して、年4回利用したサービスの内容をお知らせし、実際に事業所に支払われている費用を確認してもらい、適正なサービスの利用を促します。また、通知にあたっては、給付に関する地域課題や、予防行動に結びつくような情報等を掲載するなど、利用者が理解しやすいように、郵送時期や周知方法を工夫します。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
リーフレット等を活用した効果的な通知		4回（3か月おき）/年		3回
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	×	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
リーフレット等を活用した効果的な通知		サービス利用者全員に対し、介護保険サービスの利用状況をお知らせする介護給付費通知書を4回発送した。そのうち1回は掲載内容を利用者に分かり易く伝えるため、「介護給付費通知書の見方」に関する説明文を作成し送付した。このほか、「足腰が衰えない生活の工夫を」自宅で出来る健康づくりに関する内容、「高齢者のための熱中症対策リーフレット」夏場の熱中症リスクの周知に関するリーフレットを通知書に同封して送付した。		
5 前年度の課題、改善すべき点等				
リーフレット等を活用した効果的な通知		昨年度から送付している「介護給付費の見方」については、発送後に問い合わせも数件あり、利用したサービスの内容や費用について関心をもってもらうことに繋がっていると考え。引き続き、介護予防に関するリーフレットや機能低下を招かないための介護予防の啓発を目的とした情報発信も併せて継続していきたい。		
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	○	○	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
リーフレット等を活用した効果的な通知		4回（3か月おき）/年		

＜介護保険事業計画「取組と目標」に関する自己評価シート＞
(介護給付適正化事業)

事業項目				
6 給付実績の活用				
1 第8期介護保険事業計画における介護給付適正化計画の取組目標				
国保連から提供される各種給付実績関連帳票を活用し、上半期、下半期の年2回、適正化指導に活用するための分析・検証作業を行います。				
2 前年度の振り返り				
事業内容		数値目標		実績
適正化事業に関する検証作業への活用		6回/年		12回/年
3 前年度の事業別取組実施項目表による評価				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	×	×
4 前年度の取組を踏まえた効果や成果				
適正化事業に関する検証作業への活用		<p>「厚生労働大臣が定める回数以上の訪問介護（生活援助中心型）実績一覧表を毎月確認し、利用回数が制限回数を超過している利用者のケアプランを把握し、担当ケアマネジャーに理由書の提出を求め適正利用を促した。また、個別ケア会議において、多職種による検証を行った。</p> <p>「支給限度額超過利用者一覧表」をケアプランの点検対象者を把握するために活用した。</p> <p>「認定調査状況と利用サービス不一致一覧表」、「福祉用具貸与費一覧表」を福祉用具貸与者の訪問調査対象者を抽出する基礎資料として活用した。</p>		
5 前年度の課題、改善すべき点等				
適正化事業に関する検証作業への活用		給付実績の活用については、まだまだ有効な活用方法があると考えている。今後、様々な活用方法を実践・思考していく中で、有用な運用方法を見出したい。		
6 当年度の事業別取組実施項目				
第1	第2	第3	第4	第5
○	○	×	○	×
7 当年度の取組計画等				
事業内容		数値目標		
適正化事業に関する検証作業への活用		6回/年		